

訓練カリキュラム

訓練実施機関名： 有限会社スタック

(様式A-9)

訓練の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎コース ( )	就職を想定する職業・職種			
	<input checked="" type="checkbox"/> 実践コース ( 05 介護・医療・福祉分野 )				
	<input type="checkbox"/> 職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	<input type="checkbox"/> 託児サービスコース	<input type="checkbox"/> 短時間訓練コース (月80時間以上100時間未満)		
	<input type="checkbox"/> 「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	<input type="checkbox"/> 「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入			
訓練科名	介護職員初任者研修科			訪問介護職、施設介護員	
募集期間(予定)	令和 7年 6月 30日 ~ 令和 7年 7月29日				
選考日(予定)	令和 7年 8月 1日				
選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 面接	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	その他 ( )		
選考結果通知日	令和 7年 8月 5日				
訓練期間	令和 7年 8月 15日 ~ 令和 7年 10月 14日 ( 2 か月 )			( 訓練日数 35 日 )	
訓練時間	9 時 05 分 ~ 16 時 30 分		訓練定員	15 名	
訓練対象者の条件	特になし				
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	<input type="checkbox"/> 新規学校卒業者	<input type="checkbox"/> ニート等の若者	<input type="checkbox"/> 障害者	<input type="checkbox"/> 母子家庭の母等	
	<input type="checkbox"/> 被災者	<input type="checkbox"/> 外国人	<input type="checkbox"/> その他 ( )		
訓練目標 (仕上がり像)	介護職に必要な基礎知識及び基本技能・技術を習得し、介護事業所の仕事に従事する。				
訓練修了後に取得できる資格	名称 ( 介護職員初任者研修課程修了(令和7年4月11日時点指定申請中) ) 認定機関 ( 有限会社スタック ) <input type="checkbox"/> 任意受験 名称 ( ) 認定機関 ( ) <input type="checkbox"/> 任意受験				
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)					
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)					
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)					
訓練概要	訪問介護や施設介護における入浴・排泄・食事等の身体の介助、食事・洗濯・炊事等の日常生活の自立支援に関する知識及び技能・技術を習得する。【職場見学等推進】 8/15訓練時間については9:05~12:25、9/4、9/9、9/19の訓練時間については9:05~15:20				
	科目	科目の内容		訓練時間	
学 科	開講式・オリエンテーション・修了式	開講式(1H)・オリエンテーション(2H)・修了式(1H)			
	就職支援	ジョブ・カードの作成支援、職務経歴書・履歴書の作成指導、面接指導		14時間	
	安全衛生	心身の健康管理、整理整頓の原則、情報機器作業の安全衛生		1時間	
	職務の理解	多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解		6時間	
	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護、人権に関する基礎知識		9時間	
	介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全		6時間	
	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション、障害者総合支援制度およびその他制度		9時間	
	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション		6時間	
	老化の理解	老化に伴うところからの変化と日常、高齢者と健康		6時間	
	認知症の理解	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うところからの変化と日常生活、家族への支援		6時間	
	障害の理解	障害の基礎的理解、障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識、家族の心理、かかり支援の理解		3時間	
	ところからのしきみと生活支援技術(基礎知識)	介護の基本的な考え方、介護に関するところからのしきみの基礎的理解、介護に関するところからのしきみの基礎的理解		13時間	
	振り返り	振り返り、就業への備えと研修修了後における継続的な研修		4時間	
	修了試験	筆記試験(介護職員初任者研修事業実施要綱に基づく全科目筆記試験)		1時間	
職場体験オリエンテーション	職場体験の概要説明、体験施設紹介、職場体験の注意事項、個人情報保護		5時間		
介護職員養成研修補強	医療との連携、介護職員としての接遇マナー、社会保険制度の理解		11時間		
修了試験対策	修了試験対策		4時間		
実 技	ところからのしきみと生活支援技術(生活支援技術・演習)	生活と家事、快適な居住環境整備と介護、整容に関連したところからのしきみの自立に向けた介護、移動・移乗に関連したところからのしきみと自立に向けた介護、食事に際したところからのしきみと自立に向けた介護、入浴、生活保持に関連したところからのしきみと自立に向けた介護、排泄に関連したところからのしきみと自立に向けた介護、睡眠に関連したところからのしきみと自立に向けた介護、死にゆく人に関連したところからのしきみと終末期介護、介護過程の基礎的理解、総合生活支援技術演習		56時間	
	介護技術演習補強	生活支援技術の実践		9時間	
	パソコン基礎演習	Windowsの基本操作、タッチタイピング、日本語入力、基本的なWord操作、基本的なExcel操作、インターネットと情報セキュリティ、デジタルリテラシーの活用事例		17時間	
企業実習	<input checked="" type="checkbox"/> 実施しない	<input type="checkbox"/> 実施する	※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみに記入してください。		
職場見学、職場体験、職業人講話	【職場体験】	6時間 × 1ヶ所 × 2日	介護事業所において介護業務の体験		12時間
	(体験先未定)				
	【職業人講話】	2時間	「働く現場の理解」		2時間
		(講演者未定)			
訓練時間総合計	200時間	学科 104時間	実技 82時間	企業実習 0時間	職場見学等 14時間
受講者の負担する費用	教科書代	6,160円			合計 6,160円
	その他 ( )				
	備考 ( 職場体験先への交通費及び昼食代、予防接種代(実費) 資格取得に必要な法定講習に係る分の演習補講費(1時間あたり3,000円) )				
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する			
		<input type="checkbox"/> オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型)	<input type="checkbox"/> オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)	オンライン計	時間
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	学科・実技ともテキストのみを使用するのではなく、ワークや動画視聴も取り入れると共に、補足プリントを配布することにより理解を深めます。			
受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	キャリアコンサルティングを基に受講生の特質や様々な状況の把握に努め、フォローします。小テストおよび修了試験対策により、習得状況を把握します。				

※1 企業実習を予定している場合は、様式第10~12号を作成の上提出してください。  
 ※2 様式第6号の「日別計画表」を添付してください。  
 ※3 訓練推奨者欄には、特に訓練を推奨する対象がある場合に、当てはまるもの全てのチェック欄(□)に✓を記入してください。「その他」の場合は、「訓練対象者の条件」欄に内容を記入してください。特にない場合はチェックは不要です。  
 ※4 「職場体験」、「職業人講話」、「職場見学」については、それぞれの時間数が分かるように記入してください。  
 ※5 訓練時間には、キャリアコンサルティング等の時間は含まれませんので、除いて記入してください。  
 ※6 「オンライン計」については、算定対象訓練のうちオンラインで実施する訓練時間を記載してください。